

◆平成28年度大崎町小・中学校教職員人権教育講演会・研修会

7月29日(金)に上記の会が開催されました。
講師に元霧島市教育委員会人権教育指導員の柳田五月先生をお招きし、『私たちの子どもたちへ～親として人として～』という題で、御講話いただきました。

柳田先生の幼少期からの体験を基に、人権意識を高めたり、人権に対する正しい認識をもたせたりすることができるのは『教育の力』であり、そのことを御自身や家族のことばで強く伝えてくださいました。

人権教育を進める教師自身が人権に対する正しい知識や理解をもつことで、子どもたちの人権意識をさらに高め、世の中の差別や人権問題を解決することができると、参加した多くの先生方の感想に綴られていました。

教職員一人ひとりの人権に対する認識を高め、教師として人権教育の指導のあり方、心の姿のありようについて学ぶ講演会・研修会となりました。



◆勝負の夏！(高校受験に向けて!!)

今年も8月の5日間、中学3年生を対象にした学力向上基礎講座『学力アップセミナー』が中央公民館で行われました。

今年は56名の生徒が前期3日間(3・4・5日)と後期2日間(22・23日)に、数学と英語の2教科で、内容に応じた3つのコースに分かれセミナーを受講しました。

特に今年は開講式で、昨年受講した卒業生から受験に対する取組や心構えなどについて話を聞きました。大事な夏休みの期間をどう過ごせばよいかについて学び、生徒一人ひとりの目標や課題に応じた学習指導を受けました。

セミナーを受講した中学生からは、多くの質問が出され、学習に取り組む意欲、受験に対する意識の高さを感じることができました。



僕の夢 私の夢

『保育士になるために』

No.20 大崎小学校 6年 前田 菜津美

私の将来の夢は、保育士になることです。私が保育園にいたとき、ピアノや歌が上手で、一緒にたくさん遊んでくれる大好きな先生がいました。他のみんなが昼寝をしている最中も、ずっと先生と一緒にいて、たくさんお手伝いをしていました。そんな先生みたいになりたいと思ったのがきっかけでした。

保育士になるために、ピアノや歌など、いろいろなことを練習しなくてはなりません。子どもがかわいいからという理由だけではなれない仕事だと思っています。

今の私は、音楽の授業で学習している曲や少しの楽器ならできるのですが、ピアノは上手にできません。上手な人に習いながら、20才までにピアノが弾けるようになりたいです。また、歌の練習もしていきたいです。

私には、3人の弟がいます。母が仕事のときに、3人の面倒を任されることがあります。言うことを聞かないで、疲れてイライラしてしまう時もあります。ですが、そんなときほど保育士になるための練習だと思って頑張っています。

6年生になった今、保育士という夢を叶えるために、ピアノの練習や弟たちの世話をしている私ですが、何と言っても勉強を頑張ることが大事だと思います。たくさん勉強をして、資格を取ったり、視野を広げたりしたいです。

みなさんも、将来の夢をもって、毎日を一生懸命過ごしてください。